

EFPIA Day 2023 プレスイベント
EFPIA新会長ラース フルアーガー ヨルゲンセン
EFPIAの今後の重点方針を公表
～欧州にとり重要な日本との関係を概説～

EFPIA Japan会長岩屋孝彦
「ドラッグ・ラグ/ロス問題」に関するEFPIA声明を説明
～問題解決に向け健康・医療のステークホルダーが議論する場を設置～

欧州製薬団体連合会 (EFPIA : European Federation of Pharmaceutical Industries and Associations、本部 : ベルギー・ブリュッセル) および一般社団法人 欧州製薬団体連合会 (EFPIA Japan) は、クオリティ・オブ・ライフの向上をもたらす革新的な治療薬やワクチンを速やかに患者さんに届けることを目指し、開発環境や薬価制度の整備の重要性について提言を行っています。そして、本日 10 月 5 日 (木) に開催した「EFPIA Day 2023 プレス向けイベント」で、**EFPIA 新会長のラース フルアーガー ヨルゲンセンが EFPIA の今後の重点方針を説明し、また、EFPIA Japan 会長 岩屋孝彦が、日本における「ドラッグ・ラグ/ロス」問題に関する EFPIA としての声明を発表いたしました。**

■ EFPIA 新体制と今後の重点方針 : EFPIA 新会長のラース フルアーガー ヨルゲンセン

EFPIA 会長ラース フルアーガー ヨルゲンセンは、**より競争力のある、より健康的でより強靱な欧州と日本**のために、協力する方法について説明をしました。また、EFPIA が欧州政府と協力してイノベーションを促進するヘルスエコシステムを開発した実績および日本への協力に対するコミットメントについて言及しました。

競争力のある : 製薬産業は互いに切磋琢磨し、適切な政策的枠組み・科学・技術・規制環境のもと、活気のあるライフサイエンスのエコシステムを求めています。

より健康的な : 新薬は、私たちや愛する人の人生がより良く・楽しく・長くなりうるという希望をもたらします。技術革新は平均余命の延伸にもつながっており、病気と共に生きる人々の生活の質向上や、高齢化、慢性疾患に伴う負担増という課題に立ち向かうための見通しが良くなることにつながります。

より強靱な : 欧州と日本には革新的な経済があり、高度に相互にリンクしています。私たちはこうした強みを認識し、安定した貿易の流れを支援し、危機の際には良好な協力を行う必要があります。力を合わせることで欧州と日本はより強くなるのです。

ラース フルアーガー ヨルゲンセンは、両地域間の強固な関係の重要性について、次のように述べています。私は、日本と欧州における将来の可能性、並びに、より強力な医療制度、経済および社会を支えるために必要なイノベーションを開発するにあたり、地域間の協力の重要性を確信しています。EFPIA の会長として、私は可能な限りすべての人々と協力してこの可能性を実現することに尽力してまいります。当然ながら、それぞれの連携の第一歩は、必要とされる変化を達成するための、官民の適切なレベルでのオープンで継続的な対話です。

■「ドラッグ・ラグ/ロス問題」に関する EFPIA 声明：EFPIA Japan 会長 岩屋孝彦

日本において、「ドラッグ・ラグ/ロス」問題は深刻化しています。海外では承認されているが日本では未開発という医薬品が増加していることで、単に海外に比べて承認が遅れている「ドラッグ・ラグ」だけではなく、外資企業が日本で開発を行えない「ドラッグ・ロス」も生じています。その結果、期待できる治療法があるにも関わらず、日本では治療を受けられない患者さんが置き去りにされるだけではなく、日本の医療の質の低下も懸念される状況です。

EFPIA Japan は、本問題の緩和・解消のためは下記が重要であると考えます。

- ・ 薬価制度については、新薬開発の計画への悪影響が最小限となるよう、突然の制度変更リスクがない予見性の高い制度。
- ・ 世界の主要国から大きく後れを取らずに日本で新薬発売を可能とするような制度や医薬品の価値を適切に評価できる制度。
- ・ 薬事制度に関しては、日本の治験環境の改善、日本独自の薬事規制の撤廃、先駆的医薬品等の積極的な指定とそれに伴う早期の薬事審査の開始と承認。
- ・ EUPATI (European Patients Academy on Therapeutic Innovation) など、ヨーロッパの事例を参考にした、新薬の開発から上市後に至るまでの問題可決に向けた議論への患者参画の促進。

EFPIA Japan は、ドラッグ・ラグ/ロスの問題は日本の医療に関わるステークホルダーすべてに関わる問題と考えています。この問題に解決に向けては、患・民・産・官・学の健康・医療のステークホルダーの立場を相互理解し、解決策を議論していくことが求められると考えています。わたしたちは、EFPIA Japan は各ステークホルダーが議論をする場を設けることを通じて、この問題の解決をリードしていきたいと考えています。

「EFPIA Day 2023 プレス向けイベント」当日の内容

実施日 2023年10月5日(木) 場所：日本橋ホール

欧州製薬団体連合会 (EFPIA : European Federation of Pharmaceutical Industries and Associations、本部：ベルギー・ブリュッセル) および一般社団法人 欧州製薬団体連合会 (EFPIA Japan) は、10月5日(木)「EFPIA Day 2023 プレス向けイベント」を開催いたしました。イベントでは、EFPIA 新会長 ラース フルアーガー ヨルゲンセンと、EFPIA Japan 会長 岩屋孝彦の講演を第一部として行い、第二部では、東京大学 医科学研究所 公共政策研究分野 武藤 香織 教授をお招きし、『患者・市民参画 (PPI/E) ~欧州から学ぶ日本の課題』として特別講演をしていただきました。

■一般社団法人 欧州製薬団体連合会 (EFPIA Japan) について (<http://efpia.jp/>)

2002年4月に設立された EFPIA Japan (<http://efpia.jp/>) には、日本で事業展開している欧州の研究開発志向の製薬企業 23 社が加盟しています。2022年の加盟各社の総売上高は、日本の製薬市場の売上の約 31% を占めています。EFPIA Japan の使命は、“革新的な医薬品・ワクチンの早期導入を通じて、日本の医療と患者さんに貢献すること”です。EFPIA Japan は日本の医療向上に向けて政策決定者との対話を強化することを目指しています。

■欧州製薬団体連合会 (EFPIA, European Federation of Pharmaceutical Industries and Associations) について

EFPIA (<http://www.efpia.eu>)は、欧州で事業を展開するバイオ医薬品産業を代表する団体で、欧州各国の 37 の業界団体、欧州で活動する 40 の大手製薬企業、多数の中小企業 (SME) の直接会員により構成されています。新たな治療薬およびワクチンの創薬や研究開発、イノベーション、供給を可能にする環境の構築と、欧州経済への貢献を使命としています。

■報道関係者のお問い合わせ：

- EFPIA Day 2023 広報事務局 担当 大島、森田、高橋
TEL: 03-6260-4861 E-Mail: efpiaj-pr@kyodo-pr.co.jp
- EFPIA Japan 広報委員会 担当：石川 (ノボ ルディスク ファーマ株式会社)
TEL: 03-6266-1136